

非稼働病床の現況について（ 大阪市西部 基本保健医療圏・病院）

※過去 1 年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去
1 年間病床が一度も稼働していない有床診療所（非稼働病床という）

	医療機関名	所在市区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪みなと中央病院	大阪市港区	46床	令和 5 年度	新型コロナの終息後、入院患者数の減少により休棟となり、職員数を削減したため。	病床の一部を削減し、再稼働する。	翌年度中	診療スペースの確保や感染症等の流行期の対応のために、一部病床を削減する等して残りの病床を稼働させる予定。
2	医療法人藤田会 フジタ病院	大阪市福島区	3床	平成 28 年度	施設基準（地域包括ケア病棟）における、1 床あたりの広さの基準により許可病床数をすべて使用することができなかった為	再稼働する。	未定	病院の建て替え工事を検討しているが情勢を鑑みて着工時期については未定としている。
3	医療法人燦恵会首藤病院	大阪市福島区	16床	令和 3 年度	看護師及び看護補助の人員確保が困難な為、確保出来次第稼働可能である。	再稼働する。	翌年度中	求人はかけているが、紹介会社を通しての募集は求人費用が膨大な為、地道にハローワークやホームページや縁故を利用しての人員確保をしているので、劇的に人員確保できる状況ではない。公的機関による求人紹介など医療機関の求人費用の高騰対策を希望します。
4	大阪掖済会病院	大阪市西区	42床	令和 6 年度	大阪公立大学の関連病院となっているが、医師の派遣がいただけないため。	病床の一部を削減し、再稼働する。	今年度中	2025年9月30日付で許可病床を10床減少させています。現在32床は、休床していますが、今後、医師の確保ができた時点で、再稼働の予定です。